

2026年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、多大なご支援、お引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。2025年を振り返りますと、将来の成長を支えるべく実施してきた大規模な設備投資が一段落し、保有台数の増加に伴う市場シェア拡大・収益拡大フェーズへの進歩をお示しすることができた年となりました。国内保守契約台数は順調に増加して、2025年末時点で12万台超となりました。

2026年は、2022年に発表いたしました中期経営計画「VISION 2027」の仕上げの年となります。変化の激しい今日ではありますが、策定時に掲げました基本戦略に基づき、計画の達成に向けた取り組みを着実に進めております。重点指標である成長性におきましては、保守契約台数の堅調な増加に加え、リニューアル事業の拡大により、売上高600億円以上の目標達成が視野に入ってまいりました。収益性におきましても、売上拡大に伴う効率性の向上やコスト管理の徹底により、のれん償却前営業利益率20%以上の目標に近づいております。今後は潤沢なキャッシュフローの創出が予想されることから、株主還元の充実にも積極的に取り組み、本年の配当性向は50%を超える水準を予想しております。また、事業成長のみならず、東証プライム市場上場企業として社会的課題や地球環境問題にも真摯に向き合い、すべてのステークホルダーとの共存を目指すことで、持続的成長と企業価値向上に向けて取り組んでまいります。

「何よりも安全のために」「見えないからこそ手を抜かない」「信頼を礎に」の経営理念の下、当社グループでは、これまで以上に「適正価格で高品質なサービス」を提供し続けるべく、従業員教育・研修の充実、技術力の向上、業務プロセスの最適化を進め、グループ全体のサービス品質向上を推進してまいります。

最後となりますが、皆様のこの一年のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2026年1月5日

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO 石田 克史